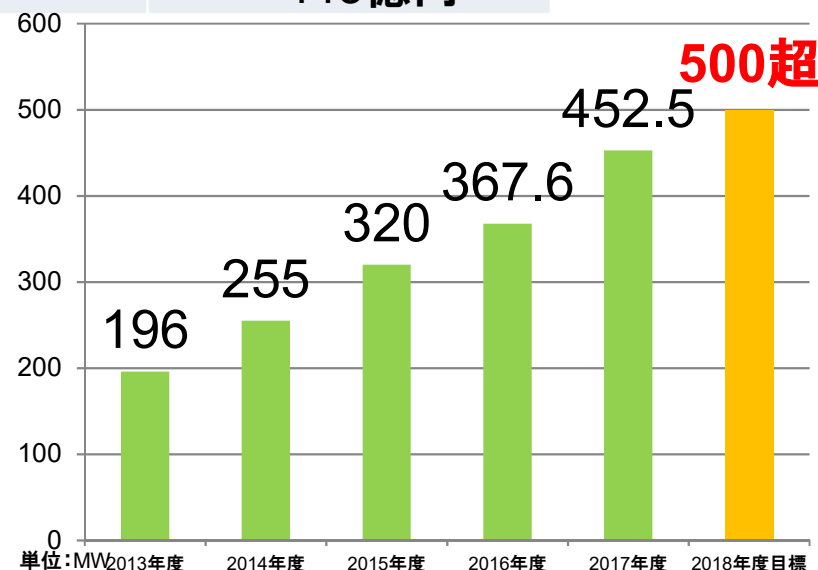

企業版 2 °C 目標の達成に向けて

 日立キャピタル株式会社

2018年6月27日

1. 日立キャピタル株式会社 会社概要 (2018年3月末時点)

事業内容	金融サービス		
経営方針 (Mission)	SDGs を基点とした「 社会価値創造企業 」 - 約 100万台 の機器を貸与資産として取扱 - 「 環境・エネルギー事業 」を注力分野として推進		
連結子会社	国内25社 海外21社	連結従業員数	5,390人 (内、海外:2,762人)
事業規模	取扱高：2兆5,093億円	売上収益： 税引前当期利益：	4,041億円 443億円



2016～2018年度中期経営計画(抜粋)

日立キャピタル

再生可能エネルギー累積発電容量

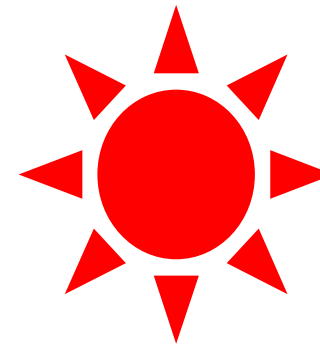
2. 2℃目標に向けた日立キャピタルの取り組み

ロードマップの策定&削減には、
国内外の広い理解・協力が不可欠！

Before:
2017年度環境省プロジェクト
参画前



After:参画！



連結・
サプライチェーンCO₂把握、
SBTに向けた
ロードマップ策定！



SBTに見合う、
95%情報精度確保に苦勞

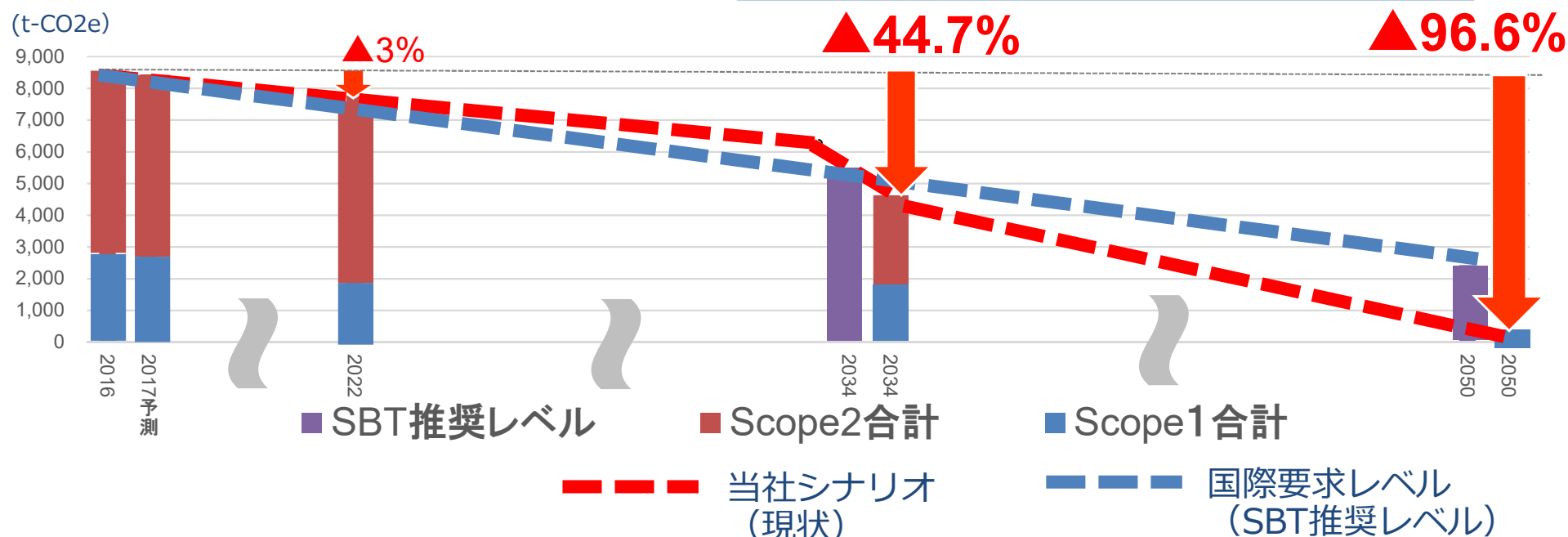
3. 2℃目標に向けた日立キャピタルのロードマップ

2034年度までに45%削減・
2050年度までに97%削減(2016年度比)

次期中期経営計画化
進行中！

Step1 ・～2033年 EV化
・2019年～ 省エネ
▲0.5%/年

Step2 2033年～
非化石証書再買取などで、
100%再生可能エネルギー化



◇日立キャピタルグループ（連結）のCO₂排出量（Scope1 + 2 の推移）

日立キャピタル

4. 2℃目標に向けた社会の課題・当社にとっての意義

17 PARTNERSHIPS
FOR THE GOALS



- ✓ 「見える化」⇒「脱・炭素化」の実現にも貢献
- ✓ 自己所有約100万台機器の環境配慮推進

社会の
課題
1

集計コスト↓・
脱・炭素化への投資↑

(具体的には)(案)

全体の知見向上：
CO₂について、一人ひとりが
ステークホルダーで参画不可欠

対民間企業（特に中小企業）：
最新の集計・ルール説明会など
ネットワーク醸成・プロ人財養成支援

技術革新への対応：
・国内外換算係数を含めたクラウドDBの提供
・RPA、AIによるデータ集計・第三者保証など

社会の
課題
2

ポストFITを見据えた、
発電の自由化促進

再生可能エネルギー発電事業を
促すインセンティブの整備